

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92	8	0	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	92	8	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	92	8	0	0	△気をつけて見ていなかったため答えられずに申し訳ありません。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100	0	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	92	8	0	0	○色々な経験をさせて頂き嬉しく思います。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25	54	13	8	△そのような機会があったことをわからなかったため答えられず申し訳ありません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92	8	0	0	△時々連絡が上手く伝わらない時があった。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	92	8	0	0	○活動の様子を教えて頂けることは、とてもありがたいです。△短時間では発達の状況や家ではどうしたらよいかなどの話までではできないのではないかと思います。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	83	13	4	0	△今の状況では面談は難しいのかもしれないと思いますが、落ち着いて機会があれば嬉しく思います。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38	50	8	4	△そのような活動があることがわかりませんでした。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88	12	0	0	○苦情を言うようなことがありませんので対応に関してはわかりません。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88	12	0	0	△利用回数が少ないこともあり、伝わらない時がある。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	88	12	0	0	○インターネットをあまり使えず今までホームページを見ることはありませんでしたが今後は見ていきたいと思っています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	92	8	0	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	92	8	0	0	
満足度	⑰	子どもは通所をたのしみに行っているか	100	0	0	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	92	8	0	0	○コロナが早く収まって外へ行きたいと本人が言っています。早くせいせい行動できる日が来るといいです。△子供の様子、これからの事、助言をいただくと機会があれば嬉しく思います。

※提出していただいた評価表は 1人分で数字の単位は%で表示してあります。

## ●評価と今後の改善点

	チェック項目	今後の改善点
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・動き回りたい子と静かに過ごしたい子のスペースを仕切るのが難しいが室内での活動では、マットで仕切るなどで動と静の場を設ける。 ・利用人数に応じて活動場所を公園などの室外と室内に分けるなどして安全に活動ができるように配慮する。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	・子どもの表われの背景を探り、より良い支援や言葉掛けなどについて振り返り、効果的な指導ができるよう心掛ける。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	・事業所ごとにバリアフリーの課題は異なるが、利用者目線で見て改善点を探る。 ・必要だと思われたら、スロープや手すりを設置する。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	・ニーズに応えるだけでなく、こちらから提案することも計画に盛り込む。 ・ぱれっとが大切にしているのは、目に見えるものだけではなく伝える。 ・保護者と一緒に将来の自立の想像をして自立に向けたデイサービス計画を作成していく。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	・個々の特性や個性を考慮して、多くの選択肢の準備をする。 ・個別活動と集団活動の場を作る。コロナ禍で難しかった外部での活動も再開していくなど、安全に考慮し工夫をしていく。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・公園だけでなく、学校や地域の施設なども活用する。 ・公園や児童館の利用にとどまらず、職員間の連携を図り情報交換をする。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・写真なども活用して、具体的でわかりやすい説明をするように心がける。 ・契約時や見学時に説明を行っている。疑問点についても応えられるようにしていく。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	・各事業所ごとに子どもの状況を話し合っ折を見て保護者に伝える。 ・送迎時にその日の活動について話をしたり写真を見てもらったりしている。フェイスブックの活用もあり、随時お知らせを心がけている。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	・今年度はコロナ禍の影響があり、面談を中止させていただいたが、落ち着いてきたら定期的に面談の場を設けたり悩みや相談の希望の有無を調査したりする。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	・コロナも収まってきたので、父母の会を開催する。 ・毎年行われていたホームカミングデイは中止になってしまったが、規模の小さいものなど、提案をして保護者同士のコミュニケーションの場を作っていく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・苦情の窓口を設けており契約時に保護者に説明を行っている。苦情があった場合は迅速、丁寧な対応を心がけ、職員間でも共有できるようにしていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・出来事だけでなく、その事の価値や子どもの変容も伝える。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	・フェイスブック、ラインなどの活用や送迎時に保護者に写真を見せて日々の活動や予定を伝えていく。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	・個人情報の管理は十分に配慮している。引き続き最新の注意を払っていく。
非常時等	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	・職員間で、まずマニュアルなどを見合っ共通理解する。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・避難訓練を、土曜日だけでなく平日にも行っていく。 ・必要な防災用品の見直しも含め点検をしていく。
満足度	⑰ 子どもは通所をたのしみに行っているか	・「楽しみにしている」と保護者から聞くことは多いが利用者からは活動の時間が短いと言う意見もあった。有意義な活動が行われているかを職員間で話をしより良い活動の場になるよう心がけていく。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	・よい表れを伝え、子どもを肯定的に見ることができるようになる。 ・支援員同士でも、子どもの表われの見取りやよりよい支援について話し合う。